

6. 発表業績・報道実績

(1) 学術誌・学会等での発表

発表業績	発表(発明)者 所属	発表(発明)者 氏名	発表誌. 巻(号), 掲載頁 (最初の頁- 最終頁), 発行年
「宍道湖に繁茂する水草と海藻を知る! ~対策を立てる前に大切なこと~	内水面科	原口展子	公益財団法人島根県環境保健公社令和元年度中海宍道湖技術研修会 (2019. 7. 30)
中海におけるサルボウガイの生息分布に及ぼす夏季の貧酸素水塊の影響	利用化学科	開内 洋	日本ベントス学会誌, 74(1), 16-24(2019)
江の川河口域におけるアユ仔魚の分布	海洋資源科	寺門弘悦	令和元年度日本水産学会中国・四国支部大会 (2019. 10. 26-27)
中間育成マダイのへい死事例	浅海科	石原成嗣	令和元年度西部日本海ブロック魚類防疫対策協議会 (2019. 10. 30)
ワカメの高密度ストック技術開発	利用化学科	開内 洋, 向井哲也, 別所大, 曾田紀子, 吉村真理, 寺戸稔貴, 堀内正志	令和元年度水産利用関係研究開発推進会議 利用加工技術部会研究会資料, 32-33 (2019)
島根県におけるアカアマダイの資源変動について	浅海科	松本洋典	令和元年度日本海ブロック増養殖担当者会議 (2019. 11. 14-15)
大型水槽と屋外培養餌料を用いた二枚貝幼生の省力的・低コスト生産の試み	浅海科	佐々木 正	令和元年度二枚貝類飼育技術研究会 (2019. 12. 17-18)
今年春季~秋季にV字回復した宍道湖のヤマトシジミ資源量について	内水面科	清川智之	第15回シジミ資源研究部会 (2020. 1. 23)
高津川におけるアユの遡上状況について	内水面科	平松大介	令和元年度全国河川湖沼養殖研究会アユ資源研究部会 (2020. 2. 6)
日本海南西海域のアカアマダイ、アカムツの資源状況の把握	浅海科 海洋資源科	松本洋典 金元保之	令和元年度栽培漁業総合推進事業研究成果報告会 (2020. 2. 6-7)
日本海南西海域における主要底魚類の漁獲の昼夜差について	海洋資源科	金元保之	日本海ブロック資源評価担当者会議 (2020. 2. 13-14)
中間育成マダイのへい死事例	浅海科	石原成嗣	令和元年度中国5県水産系広域連携担当者会議 (種苗生産技術グループ) (2020. 2. 20)
日本海西部海域における有害赤潮プランクトンの出現動態監視および予察技術開発について	浅海科	松本洋典	令和元年度漁場改善推進事業のうち赤潮被害防止対策の開発事業結果検討会 (2020. 2. 26-27)
ハイブリッド氷を用いた沖底漁獲物の鮮度保持効果について	利用化学科	開内 洋	水産物利用に関する共同研究 第60集, 17-20 (2020. 3)

バイオサーモメーターを用いた浜田産マアジの鮮度可視化実証試験	利用化学科	岡本 満	水産物利用に関する共同研究 第60集, 21-23 (2020.3)
WST-8型バイオサーモメーターを用いた島根県産魚類の鮮度評価	利用化学科	橋口怜央人, 山本雄介, 岡本満, 開内洋, 濱田(佐藤)奈保子	令和2年度日本水産学会春季大会講演要旨集, 17 (2020.3)
江の川におけるダム湖内堆積土砂の置土によるアユ生息環境の改善の試み	海洋資源科	寺門弘悦	令和2年度日本水産学会春季大会 (2020.3.26-30)
沖底の網口高さ拡大に関する模型実験	海洋資源科	吉田太輔	令和2年度日本水産学会春季大会 (2020.3.26-30)

(2) 報道実績

日付	新聞社	記事	担当部署
H31/04/16	山陰中央	収穫最盛期なのに・・・養殖ワカメ軒並み不作 島根東部暖冬影響か 高齢化、人手不足に追い打ち	浅海科
H31/04/25	山陰中央	江の川アユ漁法 冊子に 最後の川漁師 天野さん(江津・前江川漁協組合長) 考案「後世に残すべき」 県水産センターと民間団体協力	海洋資源科
R01/05/03	朝日	江の川「我が鮎獲り物語」漁具や長年の技 後世に「最後の川漁師」天野さん	海洋資源科
R01/05/15	山陰中央	島根の総漁獲量 14.4%減 マイワシ不漁 総生産額は横ばい 18年	海洋資源科
R01/05/31	山陰中央	水草 爆発的に増える恐れ 対策会議報告 塩分高く出現早まる	内水面科
R01/06/01	山陰中央	島根県 水草調査にソナー導入 宍道湖で抑制対策を強化	内水面科
R01/06/12	読売	マイワシ不漁サバ豊漁 昨年	海洋資源科
R01/06/15	朝日	悩まし夏場の藻・水草大量繁殖 早期発見 音波で探知 位置特定県などが対策躍起 再利用へ法整備など仕組みづくり	内水面科
R01/06/29	山陰中央	ダイオウイカ 隠岐の島に漂着	海洋資源科
R01/07/05	山陰中央	網にリュウグウノツカイ 松江沖	海洋資源科
R01/07/18	みなと	浜田沖底 1%減 3300トン 18年漁 ソウハチ漸増、マフグ最低 島根	海洋資源科

R01/07/18	みなと	島根小型底引 5%減 3600 トン 18 年漁 アナゴ好調、カレイ類は減	海洋資源科
R01/08/02	みなと	ヤマトシジミ 7 割減 1 万 9000 トン 6 月宍道湖 島根県「計画的利用を」	浅海科
R01/09/27	山陰中央	沖底漁業に ICT 導入 島根県、20 年度中に実証実験 魚種分布を端末で把握 漁業者と県水産技術センター 効率的操業や資源保護	海洋資源科
R01/09/29	山陰中央	江の川アユ 激減の謎 河川整備が最大の要因 特産復活へ関係者連携	海洋資源科
R01/10/01	読売	竹島 昭和初期に視察 島根丸無線電信手が記録 サバ漁中に上陸	
R01/10/03	中国	ICT 活用 収益増へ 底引き網漁を県支援 分布予測システム応用	海洋資源科
R01/10/08	山陰中央	「どんちっちアジ」記録的不振 水揚げ 238 トン 07 年以降最少 19 年漁期 ブランド化頭抱える関係者	海洋資源科
R01/11/17	山陰中央	海のない雲南圏域 なぜサメ、サバ好き 食卓飾った貴重な魚 地域に根付く昔からの味	利用科学科
R01/11/21	読売	2017 年漁獲量全国一 アナゴ ブランド化へ PR 道の駅で催事 飲食店マップ作成へ	海洋資源科
R01/11/26	山陰中央	宍道湖 シジミ資源量 6.3 万トン 秋季平均上回る 来春の安定漁獲期待	内水面科
R01/11/27	山陰中央	良型ノドグロ記録的な高値 浜田漁港 煮付け、刺し身サイズ水揚げ激減 競り値キロ 4000 円台 店頭価格 2~3 割高 ますます「高級魚」に	海洋資源科
R01/11/29	みなと	宍道湖シジミ資源回復 島根県調査 今春から 4.5 万トン増	内水面科
R01/12/11	中国	宍道湖シジミ大幅増 今秋 6 万 3755 トン 塩分濃く餌豊富	内水面科
R02/01/25	山陰中央	アマサギ年数百トン今は昔 幻の存在 今年 5 匹網に 復活に向け関係者苦闘	内水面科
R02/02/27	山陰中央	「究極の血抜き」伝授 豊洲の業者 浜田の漁師らに	利用科学科
R02/03/01	読売	アカガレイ 大田 鮮度が命 卵もたっぷり	海洋資源科
R02/03/10	みなと	アカムツ量額とも増加 島根県 19 年前半小型底引網	海洋資源科
R02/03/10	みなと	ケンサキイカ最低漁 島根沖底 19 年前半 全体は 15%減 1400 トン	海洋資源科